

(中間C)

評価委員会総合評価

研究課題名：大気エアロゾル粒子の性状とその変動過程に関する研究

評価委員会

委員長：加納裕二

委員：葦澤 浩、露木 義、鬼頭昭雄、中村誠臣、上野 充、三上正男、
小林隆久、横田 崇、蒲地政文、緑川 貴、高橋 宙

評価年月日：平成24年3月13日

1. 総合評価

- (1) 継続の可否 継続 中止
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

エアロゾル及び関連過程のモデル化を目指し、組成、吸湿特性、粒形分布等を統合的に電子顕微鏡や粒形分布測定装置などから調べるという国内では貴重な計画を着実に実施している。ケーススタディに終わらず、モデル開発も実施しており環境気象への波及効果も期待できる。

成果については、論文数はかなりあり、当初計画になかったエアロゾルモデル開発と非性力学モデルとのオフライン連結を進めたことは評価できる。一方、当初計画されていた研究自体から創出された論文の数は限定的であり、決して高い成果が出ているとは言えない。

今後は、更新された新型電子顕微鏡を軸に、これまで以上に関連する所内研究グループとの連携を強化し、観測・解析・モデル部門がより連携した研究へと発展的に進められることを期待する。さらに、本庁の環境気象業務への貢献も視野に入れた研究を進めてもらいたい。